

令和8年第3回定例会 産業建設委員会 報告（要点筆記）

議案第62号 四国中央市基金条例の一部を改正する条例について

質 疑

○委 員

この項目の表示が「一般会計」だけとなっており、これだけでは詳しく分からないので明示してほしい。

○理事者

表内の「一般会計」という文言については、四国中央市基金条例において、基金がどの会計において歳入歳出予算を組むか定める必要がある、と定められており、それを明記したものである。

○委 員

基金の目標額は設定しているのか。

○理事者

目標額は定めていない。当該基金の積立金の原資は港湾上屋事業の収益であり、年間1億円を基準とし、毎年積み立てていく方針である。具体的な額については、毎年度財政課と協議の上、決定していきたい。

議案第65号 令和8年度四国中央市一般会計補正予算（第2号）〔所管分〕

質 疑

○委 員

重機借上料について、使用する事業などの詳細が不明だがどうか。

○理事者

寒川埋立1号線の側溝の土砂除去などに使用している。

○委 員

しゅんせつ土の仮置き場について、今後も含めてどういう状況かご教示願う。

○理事者

今回の補正予算計上分としては、平成30年以降の地域清掃で排出された土砂を寒川東部埋立地に仮置きしていたものを、城山下臨海土地造成地に搬入するものである。

○委 員

これまでも申し上げてきたが、民間も同様に、こうした残土処理場が全体的に少なくなってきた建設残土の処分に困っている状況で、城山下臨海土地造成事業でも受入れをしたらよいと思うがどうか。

○理事者

現時点では、大規模な土砂搬入については受け入れている。民間事業者を対象として1万立方メートル以上の土砂の受入公募を実施したものの、応募がなかったという状況であることはこれまでお伝えしてきたとおりである。今後も、引き続き検討していく。

○委 員

搬入中の土砂について、不適切な物が搬入されているのではないかと。検査体制等どうなっているのか。

○理事者

事前の土壌検査をした上で、現地で受託者が確認し、受け入れている。今後も適切な対応ができるよう、市担当者、土砂搬入業者、事業主体で連携を図りながら事業を進めていく。

○委 員

公園費の維持修繕料について、詳細をご教示願う。また、遊具の更新に際して、インクルーシブ遊具の導入もされているのか。

○理事者

関川河川敷ふると広場の遊具塗装修繕や、伊予三島運動公園の園路修繕、三島公園の看板修繕、新田公園のサッカーゴールの塗装修繕などについて予算計上している。インクルーシブ遊具については、伊予三島運動公園に複合遊具を設置済みであり、今年度、ブランコや回転遊具等を整備する予定である。

○委 員

農林水産施設災害復旧費について、詳細をご教示願う。

○理事者

今年度4月以降に発生した災害復旧に費用を要したため、今後の不測の災害に備え、補正予算を計上するものである。

これまでの被害の詳細としては、まず農業用施設災害復旧費の重機借上料については、三島地域が1件、土居地域が2件の合計3件、土砂撤去や倒木の処理があった。工事については、川之江地域が4件、三島地域が1件、土居地域が2件の合計7件であった。

林業用施設災害復旧費の重機借上料については、川之江地域が1件、土居地域が1件、新宮地域が3件、合計5件の土砂撤去等処理があった。工事については、新宮地域の1件であった。

○委 員

債務負担行為補正の国際文具・紙製品展出展事業について、内訳をご教示願う。

○理事者

限度額3,756万3千円の内訳としては、出展業務委託料が2,400万円、会場使用料である出展負担金が1,356万3千円となっている。

○委 員

「国際」と銘打っている理由はあるのか。また市内企業からの出展社数はいくつか。

○理事者

文具や紙製品に関する国内企業をはじめ、中国、台湾、韓国など、各国から企業が出展する国際的な展示会である。今年度は市内企業19社が参加した。

○委 員

この展示会に参加した効果検証は誰が行っているのか。

○理事者

委託業務内のビジネスマッチング支援の一部として、受託者が今後の成約見込み額等を参考に検証を行っている。

○委 員

市単土地改良事業における、排水機場改良工事、市単土地改良事業補助金について、詳細をご教示願う。

○理事者

排水機場改良工事については、土居町藤原地区にある遊水地の護岸改良工事である。来年度の当初予算で計上する予定であったが、護岸の浸食状況が悪化し道路に影響が出るおそれがあり、今回の補正予算で計上したものである。

市単土地改良事業補助金については、土地改良区や水利組合等が実施する土地改良事業に対して補助金を交付するものである。川之江地域が5か所、三島地域が5か所、土居地域が6か所の合計16か所の土地改良施設工事に対する補助金として計上したものである。

○委 員

同事業内の重機借上料について、詳細をご教示願う。

○理事者

川之江地域の桜木池下流にある集水桝の土砂撤去、及び周辺暗渠内の堆積土砂撤去の2件に関する重機借上料である。

○委 員

県単畜産支援事業の詳細及び市内の畜産の現状についてご教示願う。

○理事者

市内の畜産クラスター協議会に所属する2軒の取組主体に対し、畜産経営の収益力向上を図るという目的で補助金を支出するものである。内容としては、鶏ふんの堆積場の建屋と土間の改修工事、鶏舎内の飲み水用の水樋の改修、堆肥処理機械の修繕などを行う予定のものである。

市内の畜産の現状としては、養牛が3軒、養豚が9軒、養鶏が7軒の合計19軒が畜産を行っている。なお、同協議会には養鶏5軒、養豚1軒、飼料会社1軒の合計7事業者が加盟している。

○委 員

同協議会について、全事業者が加盟しているわけではないと思うが、理由については何かあるのか。

○理事者

同協議会については、基本的には、補助金を活用しようとする事業者が加盟する会であるため、非加盟である事業者については、その意思がないものと考えている。

○委 員

紙産業振興事業における啓発物品等製作委託料について、詳細をご教示願う。

○理事者

CNFやプラスチック等を混ぜた新素材で成型した名刺ケースに市のロゴなどをあしらったものを製作するものである。市内企業に委託する予定で計画している。

議案第69号 令和8年度四国中央市水道事業会計補正予算（第1号）

質 疑

○委 員

土居地域、新宮地域の基本料金値上げについて、周知方法を今一度確認させてほしい。丁寧な対応を願う。

○理事者

市公式ホームページには掲載済みであり、市内ケーブルテレビにおいて番組を放映している。また、市広報紙にも掲載予定としており、今後も周知に努めていく。

○委 員

水道料金負担軽減事業の財源についてご教示願う。

○理事者

1月に市長の専決事項として、国からの物価高騰対策交付金約7億円のうち約4億円を4月から12月の負担軽減事業の財源に充てる予定としていた。

今回補正予算で国からの交付金約3,000万円が計上されたが、前述の交付金と合わせて財源に充てる予定であり、決算時にほかの事業と調整して実際の充当額が決定すると聞いている。

議案第70号 令和7年度四国中央市工業用水道事業会計剰余金の処分について

質 疑

な し

議案第71号 令和7年度四国中央市公共下水道事業会計剰余金の処分について

質 疑

な し

主要事業「城山下臨海土地造成事業」

質 疑

○委 員

事業費の償却について、現在3区画が契約済みということだが、残り10区画で事業費残額を償却するという考えでよいか。また、それは利益を出す目的ではないという認識でよいか。

○理事者

お見込みのとおりである。残り10区画を約65億円で販売し、償却する予定である。

○委 員

事業者からの反応はどうか。

○理事者

問合せはあるが、現在の用途として製造業、港湾関連、倉庫業などの制限があるため、販売できない状況がある。

ただし、現在一般財団法人日本立地センターに委託し、製造業及び物流業に絞って全国で2万2,000件の事業者アンケート調査を行っており、その結果を踏まえ、今後の公募の方針を検討していきたいと考えている。

○委 員

2回目、3回目の公募に際して、それぞれ改善した点があればご教示願う。

○理事者

状況を鑑みて、2回目の際には売約地が点在することにならないよう、一部区画に限定して公募した。3回目の際には、公募対象を市内企業で限定していたものを、全国に拡大して公募した。

○委 員

日本立地センターの委託費用はどれくらいなのか。

○理事者

当初予算にて売却促進委託料として200万円を計上しており、実際の契約が198万円だった。実際今回のアンケートを受け取った企業数社から問合せがあり、手ごたえは感じている。

○委 員

区画の販売価格について、13区画のうち単価の差はつけているのか。

○理事者

全区画、同一の単価で設定している。

主要事業「漁港海岸整備事業」

質 疑

な し